

経営比較分析表（平成30年度決算）

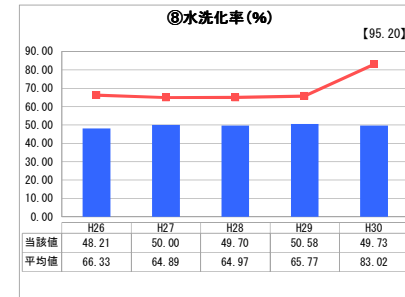
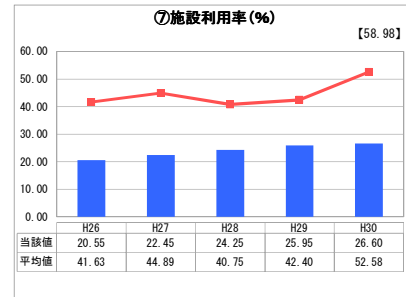
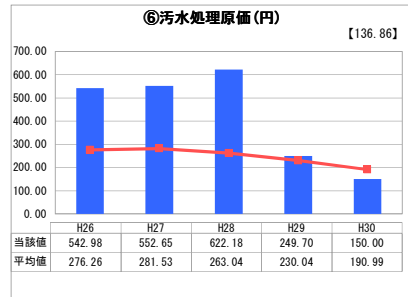
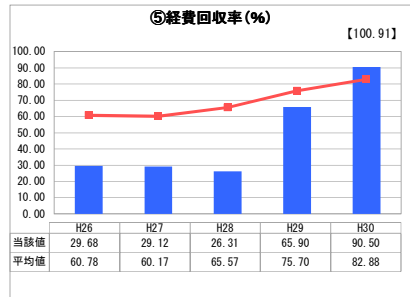
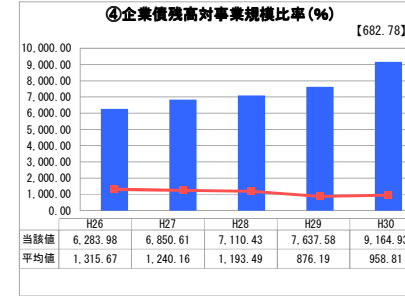
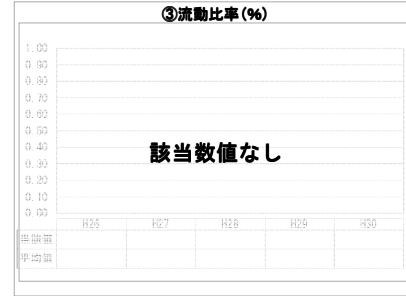
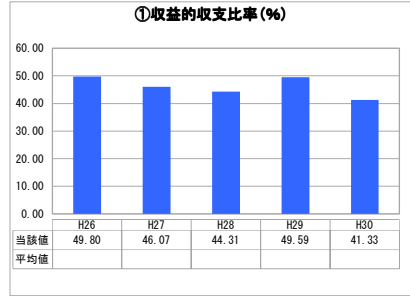
福岡県 吉富町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cc2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	53.45	103.59	3,110

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
6,839	5.72	1,195.63
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
3,660	1.36	2,691.18

分析凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

吉富町公共下水道事業は平成9年に事業着手、平成15年度に供用開始している。現在全体計画区域233ha中136haの整備が完了している。

①収益的収支比率について
現在は使用料収入以外の収入に依存しており、使用料収入を増加させることが課題である。なお、平成30年度は法適用のための打ち切り決算をしており、例年より数値が低くなっている。

④企業債残高対事業規模比率
下水道事業は事業開始時に処理場の建設、下水道管渠布設等を行う必要があるため、事業開始時は投資額が多くなる。類似団体との差は水洗化率の低さにより下水道使用料が低くなっているためである。

⑤経費回収率
今後、下水道を普及させていくことにより使用料収入の増加を見込んでいる。

⑥汚水処理原価
汚水処理原価は下水処理場への流入量の増加により低くなる。下水道普及による原価の低下を見込む。

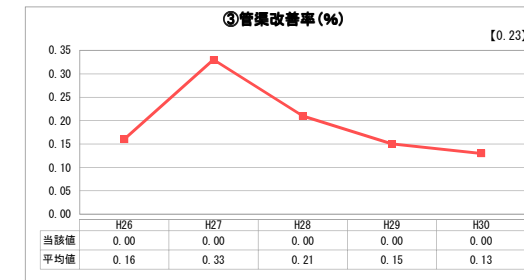
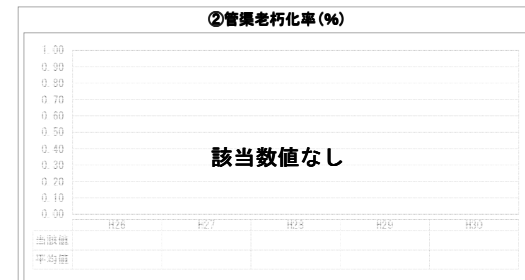
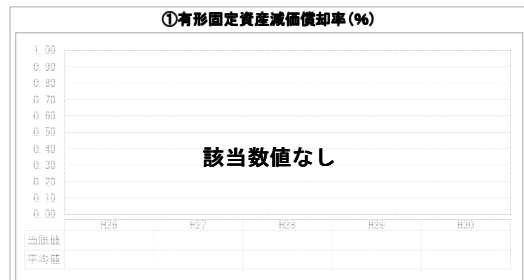
⑦施設利用率
今後、下水道を普及させていくことにより処理場への流入量の増加を見込んでいる。

⑧水洗化率
水洗化率が類似団体と比べ低い水準である。平成29年度に未普及地域の住民へアンケートを行った。今後はアンケートの結果をもとに要望者の多い地域から優先的に整備を行うことにより水洗化率の向上を見込む。

2. 老朽化の状況について

供用開始からの年数が、管渠の耐用年数を超えていないため管渠改善は行っていない。

2. 老朽化の状況



全体総括

水洗化率が類似団体と比べ低い水準である。今後、未普及地域に対するアンケートの結果をもとに、要望者の多い地域から優先的に整備を行うことにより水洗化率の向上及び経営状況の改善を図る。また、住民の下水道に対する認識が深くなるための広報活動を充実させ、水洗化率向上に努める。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。